

#おうち矯正
#混合歯列期

#BFT(バイオファンクショナル
てびて)

0歳から始める小児の顎顔面口腔の育成

～食育、悪習癖、呼吸、姿勢などバイオリジカルアプローチから～



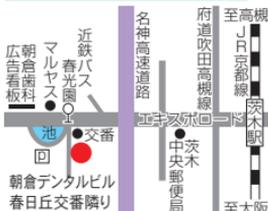
佐藤 典子 先生

(医)朝倉歯科医院 副院長
大阪大学歯学部臨床研修指導医
小児歯科医・トリートメント&
Whiteningコーディネーター
朝倉歯科医院
インプラント審美補綴研究所
大阪大学歯学部臨床研修施設
小児歯科Happy club
ホワイトニングサロンBLANCA
茨木市南春日丘1-1-19

☎072-625-2001

☎0120-468-321

com21adc@gold.ocn.ne.jp



歯並びの治療は、成長段階に応じて咬合誘導と本格矯正があります。小児の顎顔面口腔の成長期に習癖や口呼吸があると受け口、開咬や出っ歯の原因となります。又、本格矯正は、乳歯と永久歯が混在する混合歯列前期(6～10歳)に始めるのが最適です。歯列は頬側と舌側からの圧力とのバランスが取れた位置に並ぶ為、頬筋、舌筋、口輪筋＝歯列弓で舌が収まる形となり正しい舌の位置に保持することが大切です。小児の顎顔面口腔の育成を、食育、悪習癖、口ポカン、呼吸、姿勢等のアプローチからサポートするのがBFTです。健全な口腔の発育を促すおうち矯正は0歳から始め、低年齢からできる口呼吸、悪習癖の改善はBFTを活用することで、正しい機能を回復し、発育の改善ができます。又早期に介入することで治療期間が短くなり、バイオリジカルな治療(おうち矯正)で理想的な歯列へ導くことも可能となるので定期的な口腔管理をすることをお勧めします。



セカンドオピニオン外来の相談は朝倉院長がお聞きします
インプラント、金属アレルギー・入れ歯・咬み合わせ・歯周病・矯正・
審美歯科・訪問診療などはお気軽にご相談ください。